

乾いた心が、かさなるとき――

夏の砂の上

オダギリジョー

高石あかり 松たか子

森山直太朗 高橋文哉 篠原ゆき子 / 満島ひかり

斉藤陽一郎 浅井浩介 花瀬琴音

光石研

監督・脚本・玉田真也

原作・松田正隆（戯曲『夏の砂の上』）

音楽・原摩利彦

夏の砂のように

乾ききった心に沁み込む

一筋の希望を描く、

切なくて温かい珠玉の物語。

natsunosunaoe-movie.asmik-ace.co.jp

× @natsusuna_movie

© 2017 アスミック・アオーポ・エンタテインメント

愛を失った男、

愛を見限った女、

愛を知らない少女…

それぞれの痛みと向き合いながら、

彼らは夏の砂のように乾き切った心に、

小さな希望の芽を

つけていく…。



映画『美しい夏キリシマ』の脚本、映画『紙屋悦子の青春』の原作を手掛けた長崎出身の松田正隆による《読売文学賞 戯曲・シナリオ賞受賞》の傑作戯曲を、濱口竜介、三宅唱に次ぐ次世代の映画界を担う気鋭の演出家・玉田真也の監督・脚本で映画化。

本作は、息子を亡くした喪失感をきっかけに人生が止まってしまった主人公と、妹が置いていった17歳の姪との突然の共同生活からはじまる物語。キャストには、愛を見限った主人公・小浦治を本作で共同プロデューサーを務めるオダギリジョーが、治の姪・優子を2025年度後期NHK連続テレビ小説のヒロインに抜擢された高石あかりが、治の妻・小浦恵子を、『ファーストキス』『ST』『KISS』の松たか子が演じている。さらに、優子の母で、治の妹・阿佐子役に『ラストマイル』の満島ひかり、優子へ好意を寄せる・立山役に『少年と犬』の高橋文哉、治が働いていた造船所の同僚・陣野役にフォークシンガーの森山直太朗、同じく同僚の持田役にも優の光石研を迎え、豪華なキャスト陣が作品世界に彩りを添える。また、『国宝』『流浪の月』などを手掛けた原摩利彦の音楽がさらに物語を豊かにしている。

日本を代表する実力派俳優と最旬若手俳優の共演

主演 **オダギリジョー × 高石あかり × 松たか子**
森山直太朗 × 高橋文哉 × 満島ひかり × 光石研

《あらすじ》

雨が降らない、夏の長崎。幼い息子を亡くした喪失感から妻・恵子（松たか子）と別居中の小浦治（オダギリジョー）。働きもせずふらふらしている治の前に、妹・阿佐子（満島ひかり）が、17歳の娘・優子（高石あかり）を連れて訪ねてくる。阿佐子は1人で博多の男の元行方のため、しばらく優子を預かってくれという。こうして突然、治と姪の優子との同居生活がはじまること。高校へ行かずアルバイトをはじめた優子は、そこで働く先輩の立山（高橋文哉）と親しくなる。不器用だが懸命に父親の代わりをつとめる治と二人の生活に馴染んできたある日、優子は、恵子と治が言い争う現場に鉢合わせしてしまう……。



製作・プロデューサー：甲斐真樹 製作：Joan Lee 石田誠 幸田新一郎 宮地大輔 スー・ジョン 加藤林亮 都平聡介 最谷川和也 田井モトヨシ 共同プロデューサー：オダギリジョー アソシエイトプロデューサー：梅本竜矢 白川直人
撮影：月永雄太 照明：秋山恵二郎 録音：山本タカアキ 美術：井上心平 装飾：小林宙央 衣裳：立花文乃 ヘアメイク：熊須野銅 編集：ウエダアツシ 音楽効果：佐々井宏太 音楽プロデューサー：田井モトヨシ カタリスト：高田淳
助監督：久保朝洋 制作担当：中村賢也 製作幹事：スタイルジャム 制作プロダクション：スタイルジャム 配給：アスミック・エース
映画『夏の砂の上』製作委員会（スタイルジャム、LYD、E&E、アスミック・エース、テックハウス、シンカ、BBB、NAVY、PLANET、dottedline） 協賛：フジオカホールディングス 和田健一郎 田尻貴博 松本圭司
協力：しゅうじやし 株式会社Factory 株式会社銀座グリーン開発 有限会社藤原第一ホテル 株式会社ネクスト・プラス 株式会社Rシステム KIVAZAホテル札幌&沖縄 金子政弘 御木琢磨 reward株式会社 行政書士・ユリイカ法務事務所
制作協力：NBC長崎放送 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 2025/101分/カラー/日本/Sich/ビスタ ©2025映画『夏の砂の上』製作委員会

7.4 FRI 全国公開